

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月10日更新

事務事業名		下水道汚水建設改良事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	4	生活環境の健全		所属部	水道局
	施策	17	水の保全・安定供給		所属課	下水道課
	業務分野	60	排水の浄化		所属班	下水道班
課長名						坂田 寛之
担当者名						橋本 賢、山 辰石、久川 輝
内線						5283
予算科目	会計企業	款	項	目	事業連番	法令根拠
		下水道法 合志市下水道条例				
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	公共による下水道の普及率を高めるとともに、生活環境の改善および公衆衛生の向上を図り、公共用水域の水質保全を目的として下水道管渠を整備する事業である。S52年に単独公共下水道、S58年に特定環境保全公共下水道、S59年に流域関連公共下水道の事業認可を受けて事業着手した。単独公共下水道は、平成27年度末に須屋浄化センターを廃止し、熊本北部流域下水道に接続した。平成27年度に市生活排水処理構想(10カ年計画)を策定し、未整備地区へ市設置型合併浄化槽による水洗化の促進を図ることとしている。 事業開始から30年以上経過し、下水道施設の老朽化が進んでいることから、国が定めた基準による長寿命化計画(5カ年)を策定し、国庫補助金を活用した施設老朽化対策を実施してきた。平成30年度から2カ年で国が定めた新たな基準による施設ストックマネジメント計画を策定しており、今後も国庫補助金を活用しながら、施設の老朽化への対策を実施する。
【業務の流れ】	下水道事業認可区域の管渠整備 ①測量設計委託契約② 実施設計書の作成 ③道路占用申請 ④工事請負契約の締結 ⑤下水道管渠工事 ⑥しゅん工検査⑦支払事務 ストックマネジメント計画による改築更新 ①調査・点検 ②ストックマネジメント計画の策定(5カ年)③補助申請 ④実施設計 ⑤改築更新工事 ⑥しゅん工検査 ⑦支払事務 ⑧実績報告
【主な予算費目】	材料費、委託料、工事請負費、負担金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

セミコンテクノ汚水管渠築造工事、すずかけ台中継ポンプ場耐震補強工事、小池汚水中継ポンプ場他実施設計、小池汚水中継ポンプ場耐震・改築工事、塩浸川浄化センター汚泥棟耐震・改築工事、塩浸川浄化センター電気・機械設備更新工事、マンホール蓋更新工事、マンホールポンプ場改築工事・通報装置更新工事、管更生工事、ストックマネジメント計画策定、御代志土地区画整理事業に伴う下水道管渠築造工事、農集野々島地区改築工事、WPPP検討調査(問題点洗い出し)などを行った。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

第2期施設ストックマネジメント作成、中九州横断道路建設に伴う既設管移設工事、WPPP導入可能性調査、御代志土地区画整理汚水管渠築造工事(A街区)、各マンホールポンプ場更新工事、塩浸川浄化センター汚泥棟耐震・改築工事、小池・大池汚水中継ポンプ場耐震・改築工事、公共汚水樹設置工事等を行う。

③予算の主な増減の理由

熊本北部流域下水道事業建設負担金の増額に伴う負担金の増

成果指標

下水道放流水の水質基準達成回数/検査回数×100

(単位)

% 総合計画施策20(水の安定供給と排水の浄化)の成果目標

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	%	100	100	100	100	100	100	100	100
事業費	国庫支出金	千円	64,950	29,263	166,700	53,222	181,400	159,000	159,000
	都道府県支出金	千円	5,401		48,658	55,555	32,148		
	地方債	千円	132,600	65,700	427,900	625,200	507,200	250,000	250,000
	その他	千円	106,175	152,183	224,949	217,798	202,873	30,000	30,000
	繰入金	千円							
	一般財源	千円							
(A)事業費計	千円	309,126	247,146	868,207	951,775	923,621	439,000	439,000	439,000

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

市生活排水処理構想に基づき計画的な整備を行うこととしており、管渠整備事業に関しては今後も整備率100%を目指して事業を進めていく。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)